

# 「おたふく風邪」の手当て

前回より、“子供がかかる代表的な病気についてのケア”をご紹介します。  
(前回は、育児講座④「はしか」の手当て)

おたふく風邪(耳下腺炎)は、はしか同様に、**予防接種をしても罹る病気**です。  
しかも、**大人になってからも罹ります**。

実際、この一年間でも、  
「貴女、これはおたふく風邪ですよ」  
とお伝えした方が10数名いらっしゃいました。  
そして大人になってから罹った場合、かなり注意を要するのですね。  
しかも、**一度罹った人も、経過がキチンとしていないと**、(つまり薬などで止めてしまうと)  
**また罹ってしまうのがおたふく風邪**。

この機会に、ぜひ、おたふく風邪に対するケアを覚えておきましょう!  
これだけで、大人になってから罹ったとしても安心して対応できます。  
そのため、

今回の講座はお子さんをお持ちの方や、整体にご関心のある方だけでなく、  
どんな方にもお勧めします。  
楽しく学んでいきましょう!



## 講座内容 (以下、その一部を掲載)

おたふく風邪は●●●を育てる病気!

(だから、おたふく風邪をこじらせると子供ができなくなるといわれる。  
反対に、きちんと経過させると、むしろとっても丈夫な子供を産める体になる。  
これは、女性だけでなく、男でも同様!!  
現在の不妊の原因のほとんどはおたふく風邪に罹っていないためといえる (岡島先生))

### 〈かかる時期〉

□はしかは3~8才に多いが、おたふく風邪は6~8才が多い。  
(つまり、生殖器が育ち独立する力ができる時です。大人もそうなのですよ!)

### 〈季節と環境の注意〉

□●月と●月に多い。  
□日光と●、そして気温の変化に注意をする! (休養期が最も大切)

### 〈おたふく風邪の経過〉

□大別すると潜伏期⇒腫脹期⇒休養期となる。  
・潜伏期、3~5週間!  
・腫脹期、大体4日~1週間  
・休養期、1日~4日(それ以上かかる場合もあるので注意!)  
□経過を邪魔するもの。(後述)  
外因としては上述の日光など。  
内因としては、後頭部の異常がほとんどなのですが、(腫脹期のケア4にて後述)  
こうした方がすぐに●院に行ってしまうと大変なことになることが多いのです。  
●あなたは、おたふく風邪になった時、キチンと経過できる体でしょうか?

### ☆潜伏期

★潜伏期には、(これで発見しましょう!)  
1. なんとなくだるい。また、妙にいらだっている感じがする。  
2. 多少の咳(力の弱い咳)

3. 尿意の変化。(尿意と耳下腺は関係しているのです)  
※近くなったり、遠くなったり、トイレに行った時に出ない、行きたくない時に出てしまうもある。
4. 腰椎2番と3番というところの間が過敏な痛みが出る。(実習)
5. 足の内踝下にこわばりが生ずる。

★潜伏期のケア (この潜伏期のケアが経過中何よりも重要!なので実習)

1. その腰椎2番と3番の間に刺激あるいは愉氣。  
(技術が有る者はショック。L5が捻れることへの注意点)  
⇒ すると腰の痛さやだるさが出てくる。
2. そのあとで、●●●に愉氣。  
⇒ 腰の痛みがとれ、発熱し出す。  
※注/発熱し出すと尿意が近くなる。(経過順調)  
遠くなる人は(経過が長引く傾向にあり)「余病」に注意。  
(3. さらにいうと、その後、後頭部第四と内踝に愉氣をすると良い)

### ☆腫脹期

- ★腫脹期には、
1. 喉と耳、そして歯の痛み。
  2. 耳下腺が片側ずつ交互に腫れる。  
(8時間おき)  
※「発熱」も腫れの交替に伴って上がったり下がったりする。
  3. 両側が腫れると、腫れが下がる。(その後、四側のラインで腰まで辿る)

★腫脹期のケア (実習)

1. まずは、腫れない場合 ⇒ 上頸、C2に愉氣
2. 腫れはじめた時 ⇒ 1と同様+腰(L3)のこわばっている側の膝を下げる。
3. 腫れはじめの痛みに対して ⇒ 内踝下と尾骨への愉氣。  
※特に尾骨(の両側)と胸椎5番を合わせて愉氣すると、発熱が一気に経過する。(とりわけ39度以上の熱に対して)

4. 片側だけしか腫れない(腫れにくい) 場合  
 三つ理由があって、一つは冷えた場合 ⇒ 「冷急の急処」+足湯  
 ※以下は専門的なためお見せするだけでもいいかもしれません。  
 二つ目は(半)絶壁の場合 ⇒ S2、4&絶壁部  
 三つ目は胸椎11番と腰椎3番(生殖器の中核)の異常  
 ⇒ L2、3間ショックやL3調整、腸骨と仙椎に愉氣。  
 ※この二つ目と三つ目と、あと全絶壁が、(後述)と書いた上記「口経過を邪魔するもの」の内因に当たります。  
 だから、そういう方は、ここに愉氣をすれば良いのです。  
 (なお、全絶壁の方は、L2、3間のショックとC7(ショック岡島)を行います。)
5. 足首が冷えた場合 ⇒ 足湯

#### ☆休養期

- 最も気をつかうのがこの休養期(体温が平熱以下になったとき)です。  
 この休養期の経過を失敗すると余病などを引き起し、生殖器に問題を残すことが多いです。
- ・ともかく安静にさせ、温度変化に注意をし、直射日光や風に当たらないこと。
  - ・とくに足首に注意。(冷やさない&飛び跳ねない。)
- ※特に大人の場合、30代で一年、40代以上で4~5年は足首に注意すること、といえます。  
 私は、「しばらくの間『ガラスの足首』だと思ってください」という言葉をよく思い出します。
- ・なお、休養期の終わりには、膝を下げ気味に愉氣すると良いです。
3. 熱が下がったときに、●●を引っ張る。  
 (重要。これははしかかどうかの見極めにも用いる。)
4. “はしかの硬結”への愉氣。

#### 《おたふく風邪の経過がうまくいくとこうなる》

1. 男は男らしく、女性は女らしくなります。  
 (生殖器も健全として育ちます。大人も。)
2. 体的には、内踝下の硬直が消えています。
3. 後頭部の弾力が増えています。(絶壁部があった人も変化しています)
4. 腰の弾力が育ち、そして安定します。(とりわけ腰で重要なL3二側)
5. 良い意味での独立心が育ち、他に寛容になれます。

#### ※《反対に経過がうまくいかない…(薬とかで止めてしまったりすると)》

- 余病を併発しやすい。  
 ※それが数~数十年あとなど、後日であることがあるため、以下のポイントを付記しました。
- ・睾丸炎、卵巣炎(この余病は有名ですね。D11)
  - ・脱腸(実に多い。しかも後から。C7、L5)
  - ・膀胱炎が起こりやすくなる(これも多い。L5)
  - ・子供ならおねしょ(後頭部)

#### 《最後に》

今回実習するポイントは、人間の身体にとって、とても大切な場処です。

今回のテーマ(おたふく風邪)のことを通して、  
 人間の自然な成長の大切さや、手当ての気持ちよさ、  
 ただ、自然でいいんだな、ということを知って(ではなく)  
 感じて頂けたら、講師として何よりうれしいです。

どんな知識を忘れても、  
 たいせつな手当てができるように、  
 そして、何より、自分や周囲が安心できるように。  
 そのために、この講座を行っていきます。(浄潤)

#### あらかじめ読んでおくと良い本

- ※ありません。(しいて言えば、氣道会のCDでしょう(無料))
- ※なお、お子さんをお持ちの形には「育児講座③」  
 (資料も貴重ですのでお薦めします。長谷川浄潤。氣道協会。  
 あとは「育児の本」「叱り方褒め方」(野口晴哉著。全生社))
  - ※「予防接種」を受けようか迷っていらっしゃる親御さんには「予防接種を受ける前に」(ジャパンマニシスト刊)は挙げられます。

- ・どんなご質問にもお答えさせていただきます。
- ・この講座チラシと筆記用具をご持参下さい。
- ・今回のおたふく風邪講座は、恩師故岡島瑞徳先生が1993年に粕江(ホケット)にて行った「子供の成長と病氣」の講義資料を参考にさせていただきました。
- ・お子さんとご一緒での参加もOKです。(もし泣いてしまった場合はエステ室か更衣室にご移動くださいませ)

**日時** 2017年6月11日(日) 12時半~15時半 **場所** 横浜道場  
**講師** 長谷川浄潤 **受講料** 会員：3000円(回数券2枚使用可) 一般：3500円

- 申込方法**
- ・事務局までお電話(045-261-3300)を頂くか、下記申込用紙にご記入の上FAXにてお送り下さい(24時間受付)。
  - ・受講料は、ご予約後1週間以内に納入されて下さい(道場での手渡し、または下記へのお振込み)。
    - 郵便振替：00250-1-131173(氣道協会)
    - ゆうちょ銀行：〇二八店(普)6495060(氣道協会生活環境改善部)
  - ・ご入金をもって申込完了とさせていただきます(尚、ご入金された受講料は返却できませんのでご了承下さい)。

『育児講座⑤「おたふく風邪」の手当て』申込書 FAX:045-261-3304

ふりがな  会員  
 お名前：  一般 電話番号：

ご住所：(〒 - )